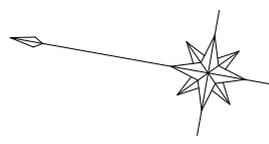


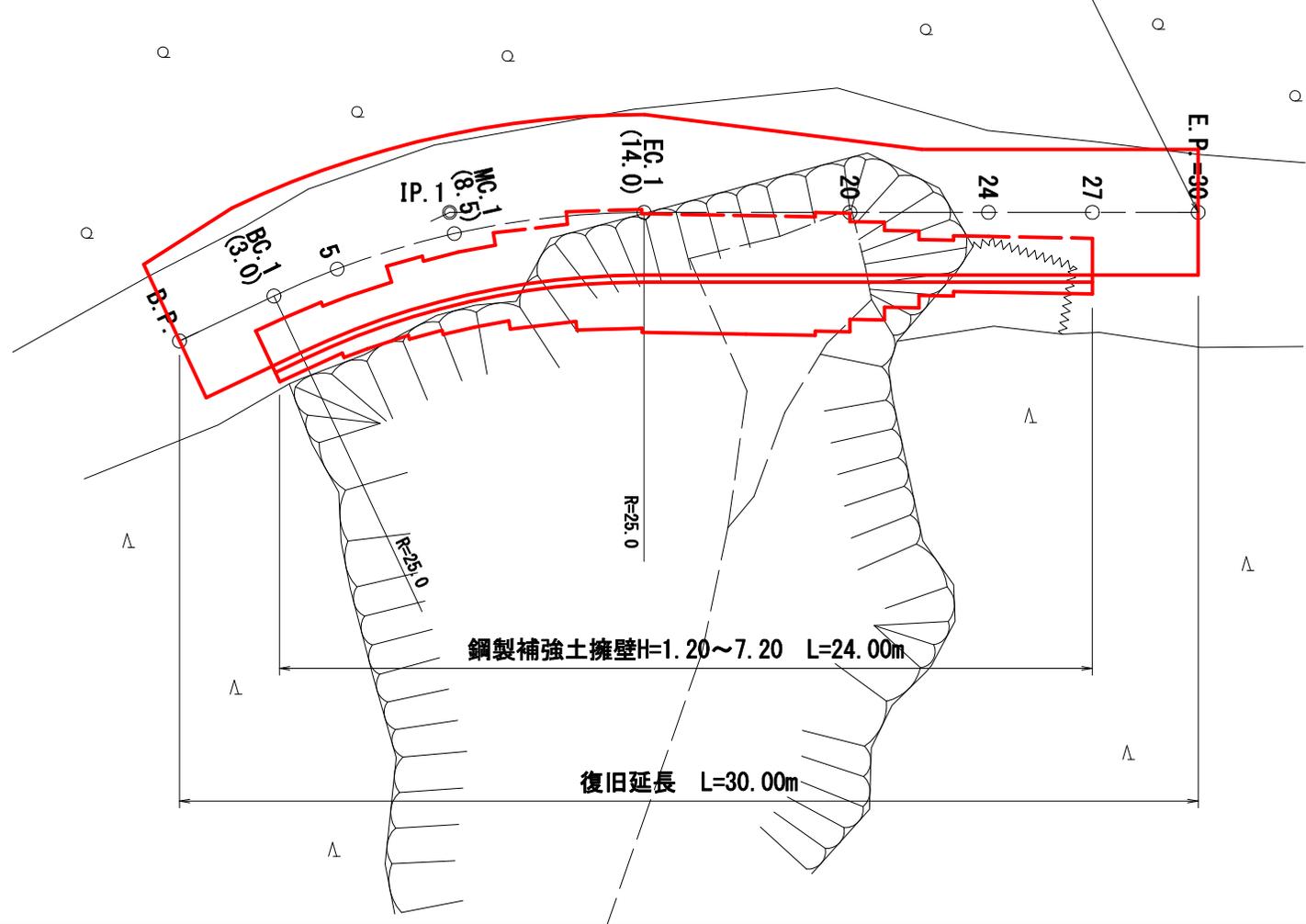
図名	平面図(1/1)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 4 2.0Km地点



IPNO	IP. 1
IA	25-18-20
R	25.000
TL	5.612
CL	11.042
SL	0.622

木製路面排水工 Aタイプ L=4.0m



鋼製補強土擁壁H=1.20~7.20 L=24.00m

復旧延長 L=30.00m

図名	横断面図 (1/3)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

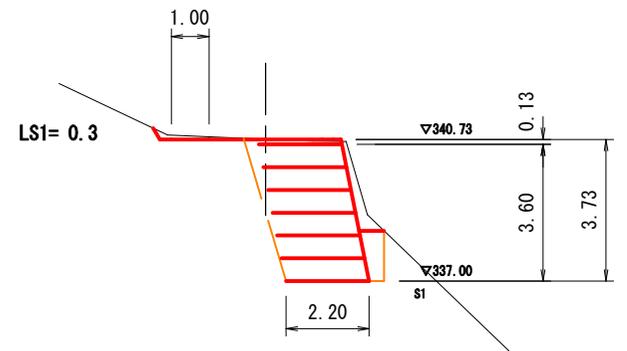
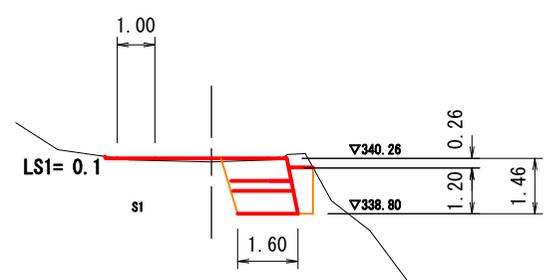
被災番号 4 2.0Km地点

MC. 1 (8.5)
±0.00

S1= 0.2
BA= -

BC. 1 (3.0)
+0.10

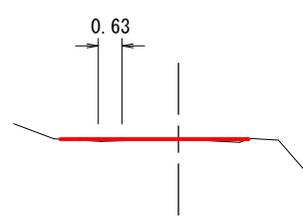
S1= -
BA= 0.2



起点取付加算土量
BAV = $0.2 \div 3 \times 3.0 = 0.2m^3$

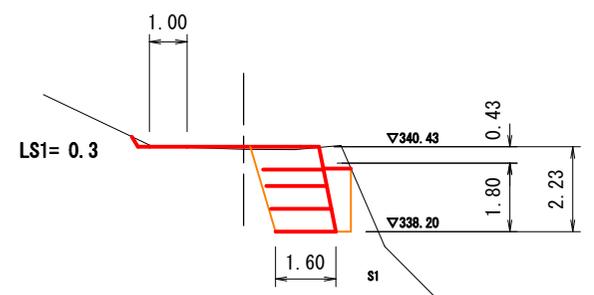
B. P.
±0.00

S1= -
BA= 0.2



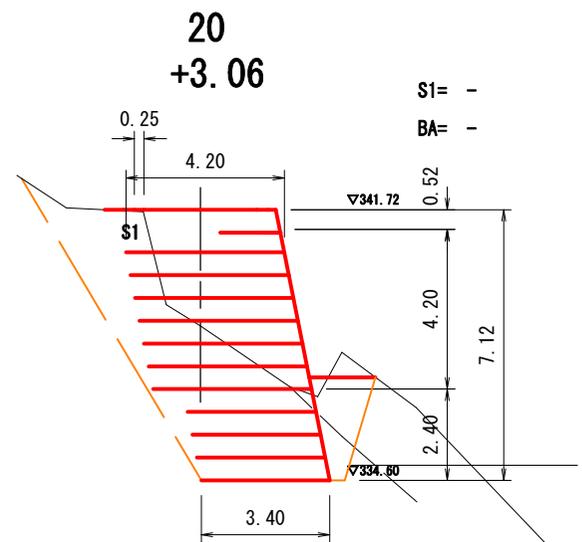
5
+0.07

S1= 0.1
BA= 0.1



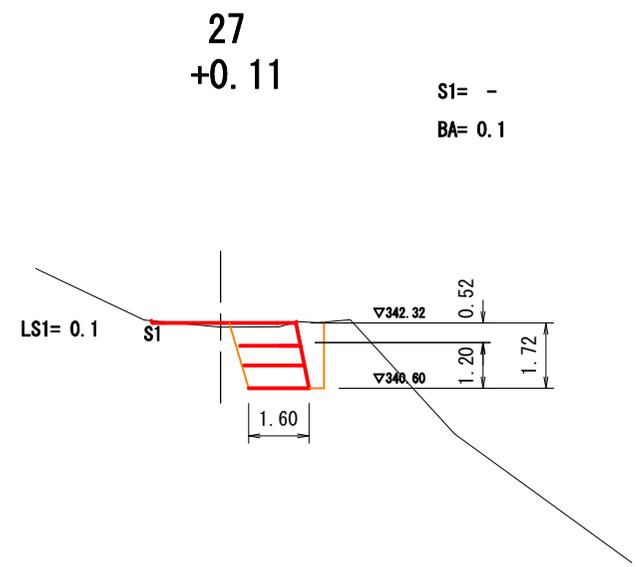
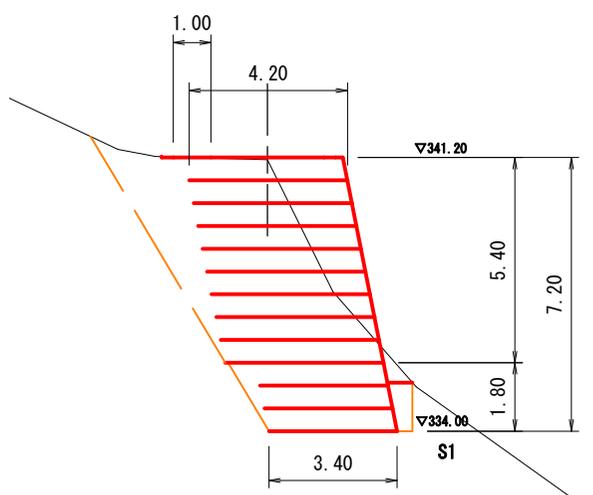
図名	横断面図 (2/3)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 4 2.0Km地点



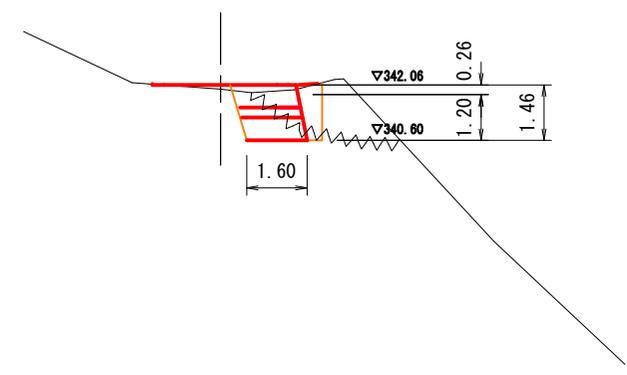
EC. 1 (14.0)
+0.06

S1= -
BA= -



24
+0.11

S1= -
BA= 0.1



図名	横断面図 (3/3)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 4 2.0Km地点

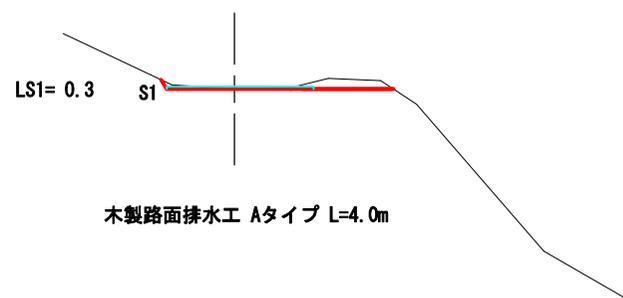
E. P. =30
±0.00

終点取付加算土量

$$S1V = 0.7 \div 3 \times 3.0 = 0.7m^3$$

S1= 0.7

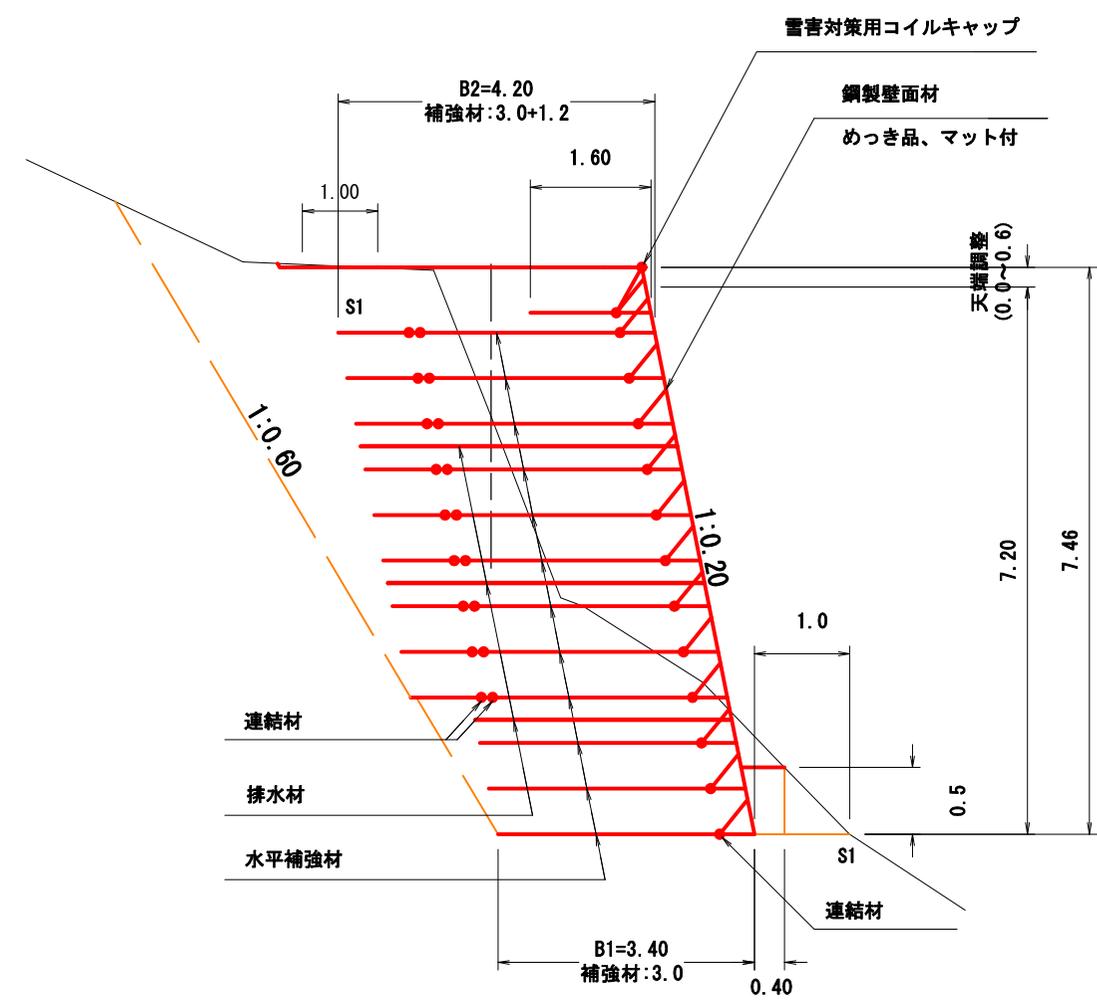
BA= -



図名	構造図(1/6)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 4 2.0Km地点

標準断面図 17



図名	構造図(2/6)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

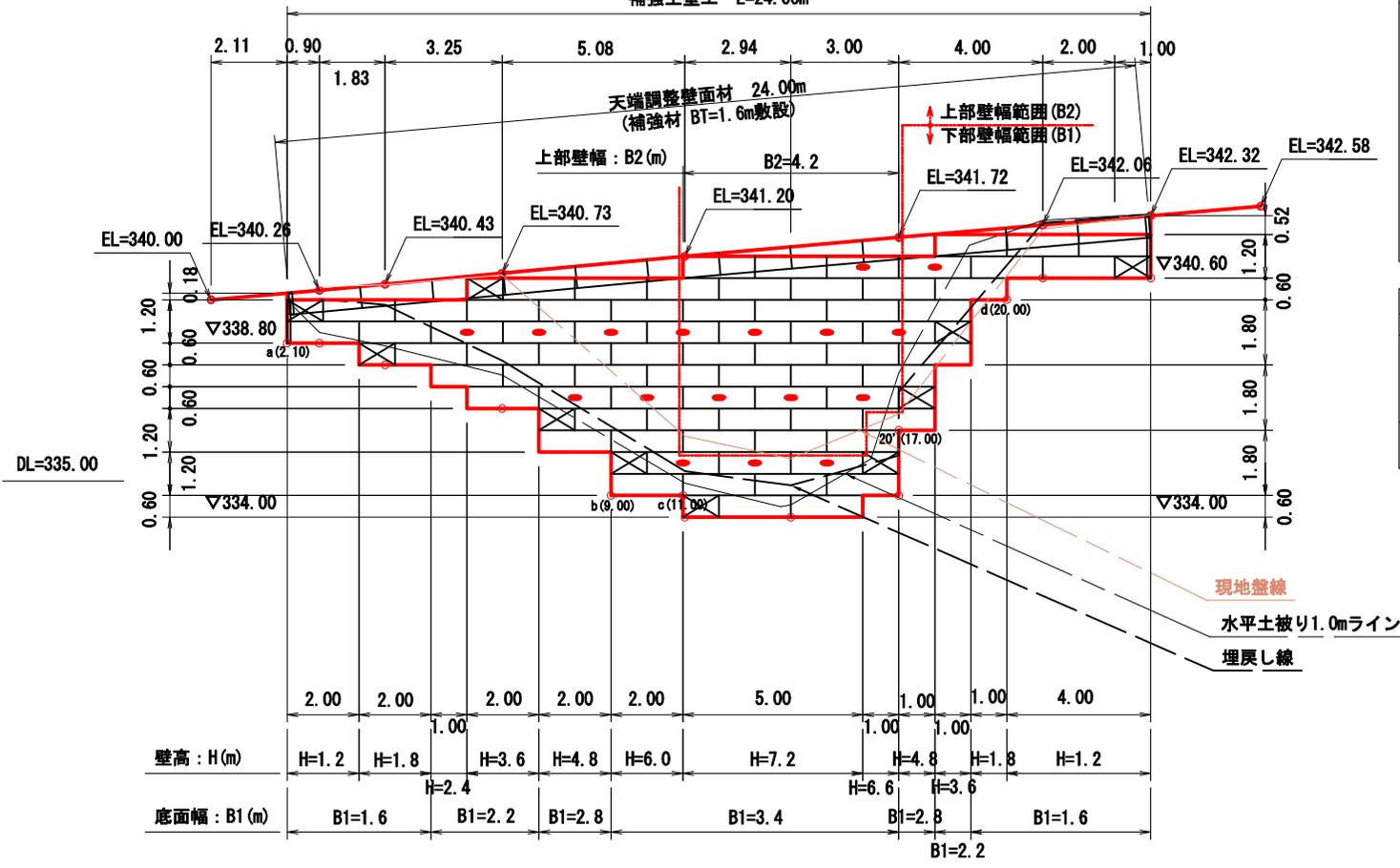
被災番号 4 2.0Km地点

補強土壁工 S=1:200

正面図

B.P. BC.1 5 MC.1 8.5 EC.1 14.0 17 20 24 27 E.P.=30

補強土壁工 L=24.00m



盛土材の内部摩擦角	$\phi = 35^\circ$
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18.0 \text{ kN/m}^3$
粘着力(内的・外的)	$c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
粘着力(全体)	$c = 0.0 \text{ kN/m}^2$
活荷重	$W_L = 10.0 \text{ kN/m}^2$
設計水平震度	$kh = -$

H=7.2m	常時	$q_{max} = 174 \text{ kN/m}^2 < q_a = 300 \text{ kN/m}^2$
--------	----	---

- 特記事項
- 鋼製壁面材は斜タイ材と隆起し材を有する剛性の高い構造のものとす。壁面材の断面保数は0.8cm /m以上とする。
 - 鋼製補強材は各段の壁面材ユニットに面状に敷設すること。
 - 鋼製壁面材と補強材の表面処理は溶融亜鉛めっきとし、その付着量は500g/m²(HDZ50)以上とする。
 - 盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改良する事を前提とする。
 - 背面の掘削面に湧水がある場合は、補強領域に水が侵入しないような排水対策を施すこと。
 - 実施に際して土質試験等を行い、所定の土質定数や支持力を満足することを確認すること。
 - 施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うものとする。

項目(頻度)	管理値又は許容値
盛土材の締固度(盛土材500m ² に1回)	<ul style="list-style-type: none"> JIS A 1210のA,B法による最大乾燥密度の95%以上、C,D,E法で90%以上とする。 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	<ul style="list-style-type: none"> 所定の壁面勾配$\pm 0.03H$(H:補強土壁高さ)もしくは30cm以内。

- 凡例
- 壁面材 (2mユニット)
 - 壁面材 (1mユニット)
 - 側面板 (n=600)
 - 排水材 (10x300)

壁幅(m)	補強材長(m)
1.6	1.2
2.2	1.8
2.8	2.4
3.4	3.0
4.2	3.0 + 1.2

図名	構造図(3/6)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	図示

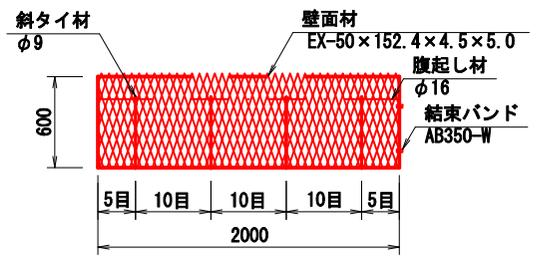
被災番号 4 2.0Km地点

鋼製補強土擁壁構造詳細図

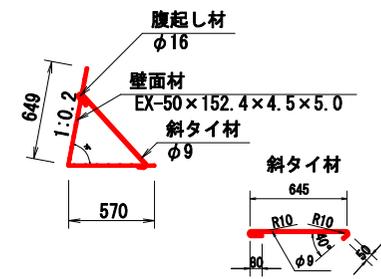
一壁面勾配=1:0.2- S=1/50

標準ユニット

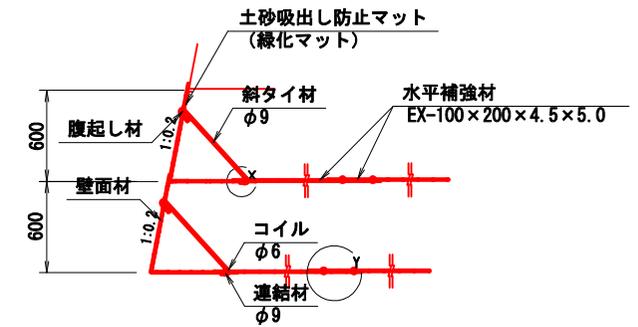
正面



側面

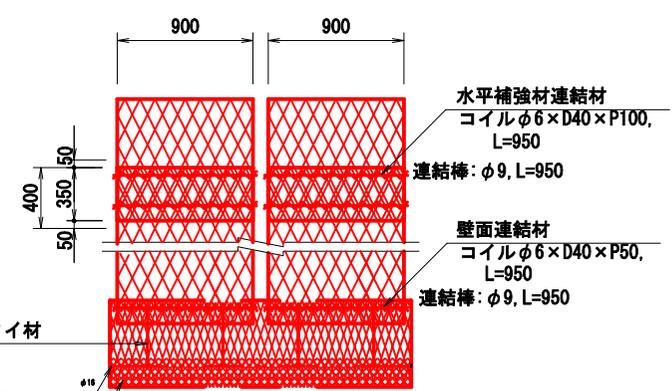


断面形状 (積重ね断面)



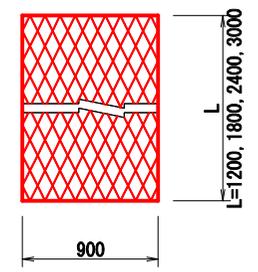
平面

水平補強材 水平補強材

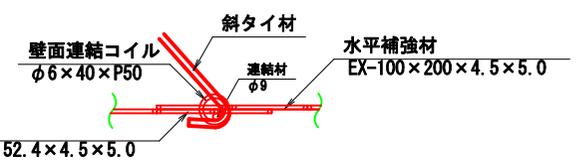


水平補強材

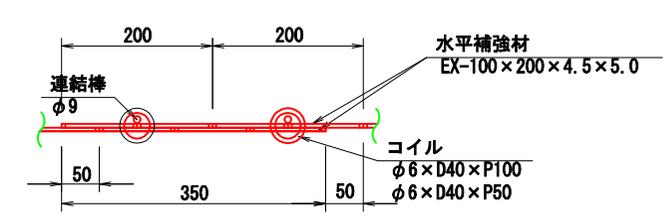
Excel1100A: EX-100×200×4.5×5.0



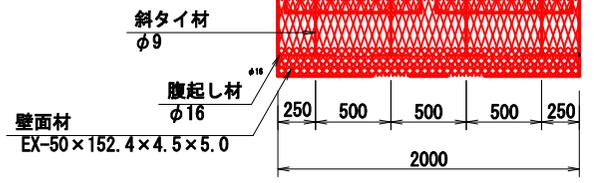
壁面連結部 X-X詳細 S=1/10



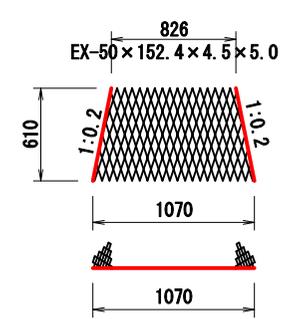
水平補強材連結部 Y-Y詳細 S=1/10



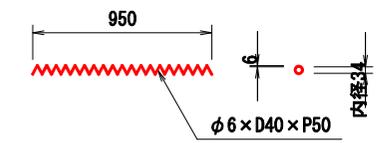
壁面材



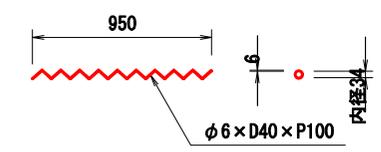
側面板



壁面連結材 (壁面材とExcel-100用) S=1/40



水平補強材連結材 (Excel-100用) S=1/40

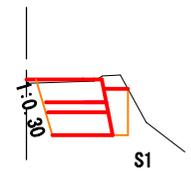


図名	構造図 (4/6)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 4 2.0Km地点

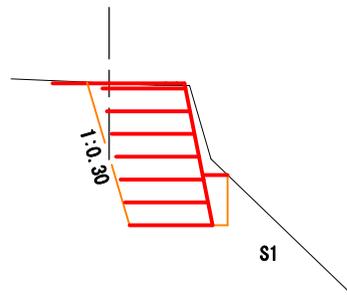
BC. 1 (3.0)

床掘 (S1) = 3.2
埋戻 (D) = 0.6
補強土盛土 (BA) = 2.4



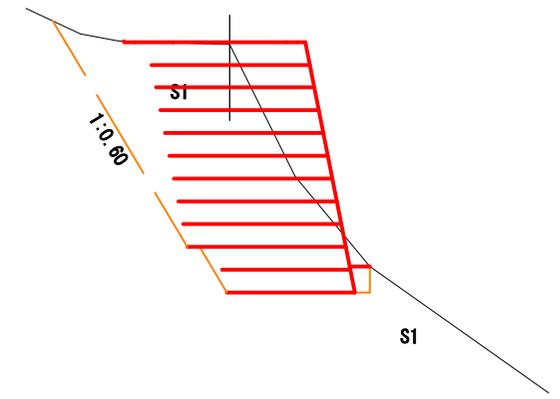
MC. 1 (8.5)

床掘 (S1) = 10.2
埋戻 (D) = 0.7
補強土盛土 (BA) = 8.9



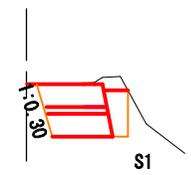
C

床掘 (S1) = 27.6
埋戻 (D) = 0.3
補強土盛土 (BA) = 33.2



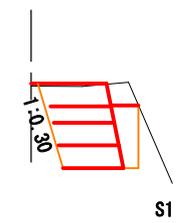
a

床掘 (S1) = 3.2
埋戻 (D) = 0.6
補強土盛土 (BA) = 2.3



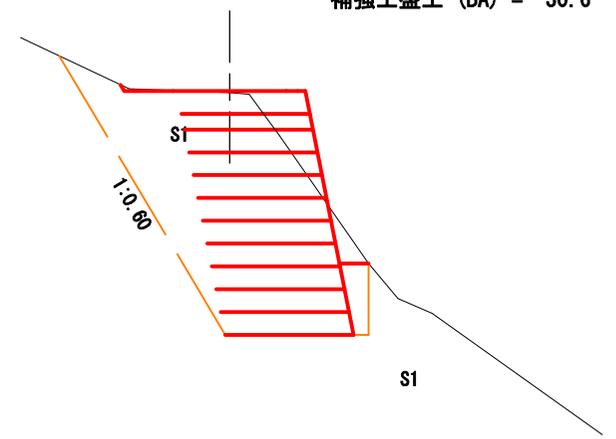
5

床掘 (S1) = 5.0
埋戻 (D) = 0.9
補強土盛土 (BA) = 3.8



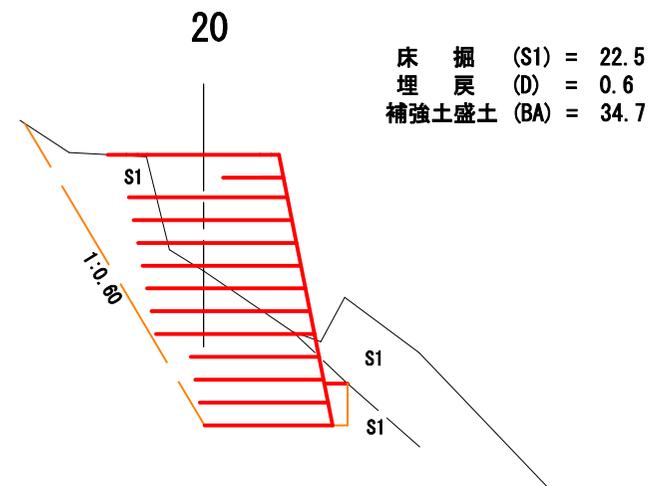
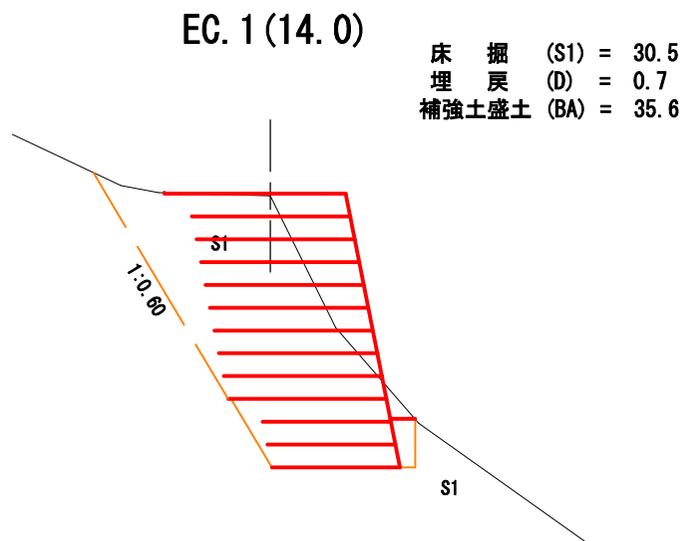
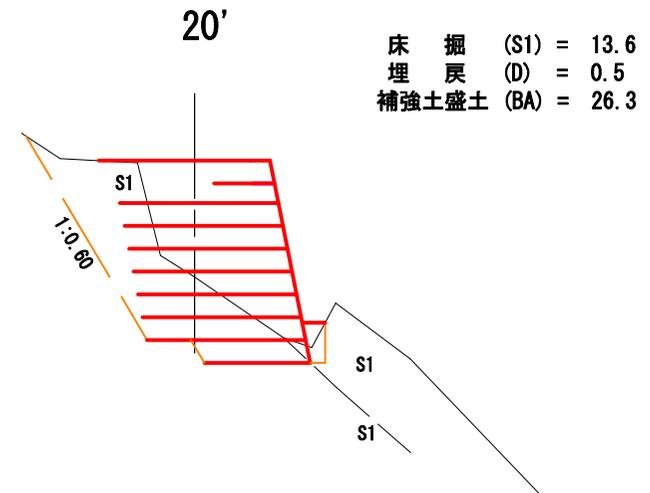
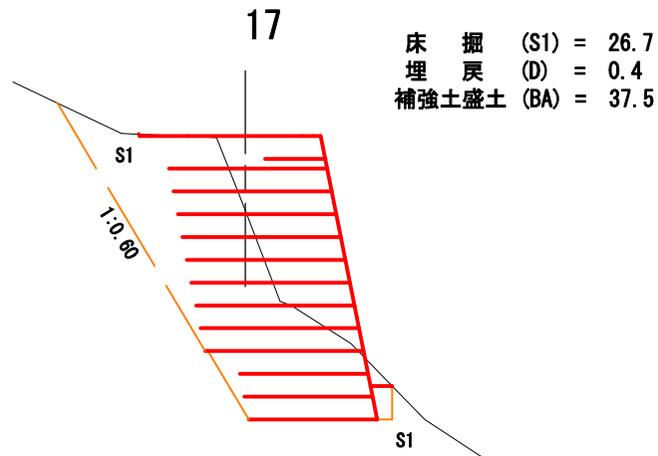
b

床掘 (S1) = 30.1
埋戻 (D) = 1.1
補強土盛土 (BA) = 30.6



図名	構造図 (5/6)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 4 2.0Km地点

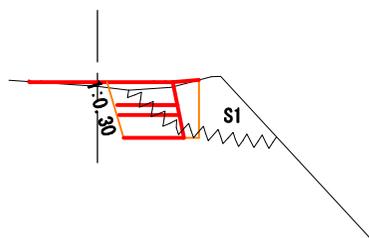


図名	構造図(6/6)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 4 2.0Km地点

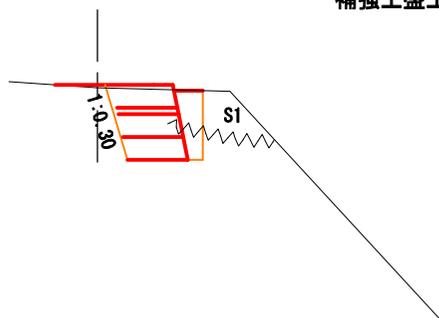
24

床掘 (S1) = 2.9
埋戻 (D) = 0.8
補強土盛土 (BA) = 2.4



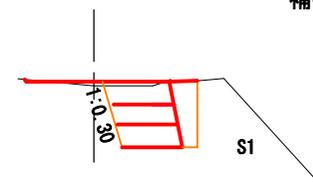
d

床掘 (S1) = 4.2
埋戻 (D) = 1.1
補強土盛土 (BA) = 3.3



27

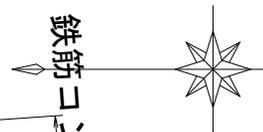
床掘 (S1) = 3.7
埋戻 (D) = 1.0
補強土盛土 (BA) = 2.9



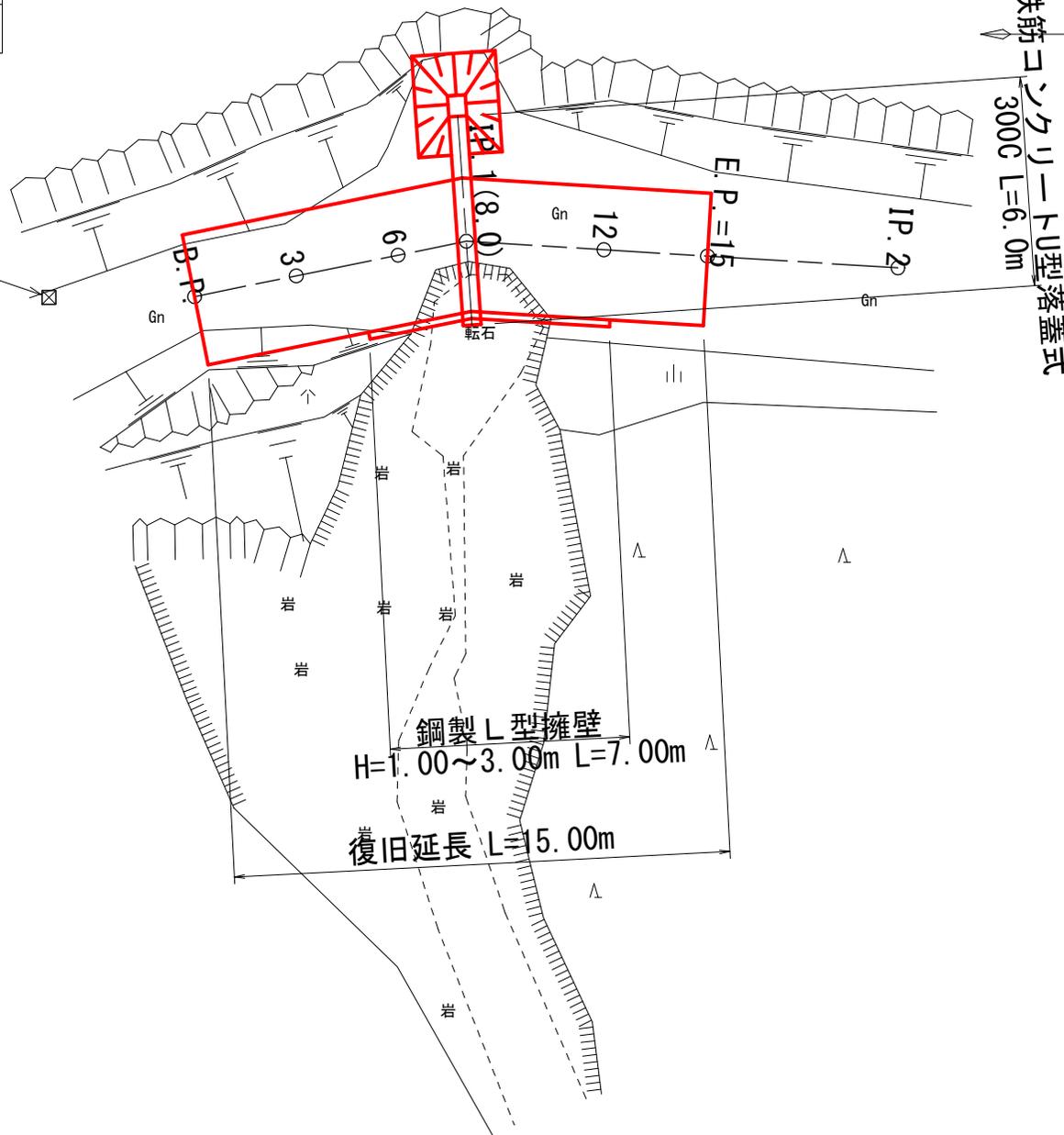
図名	平面図 (1/1)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 5 2.7Km地点

IPNO IP.1
I A 14-54-50

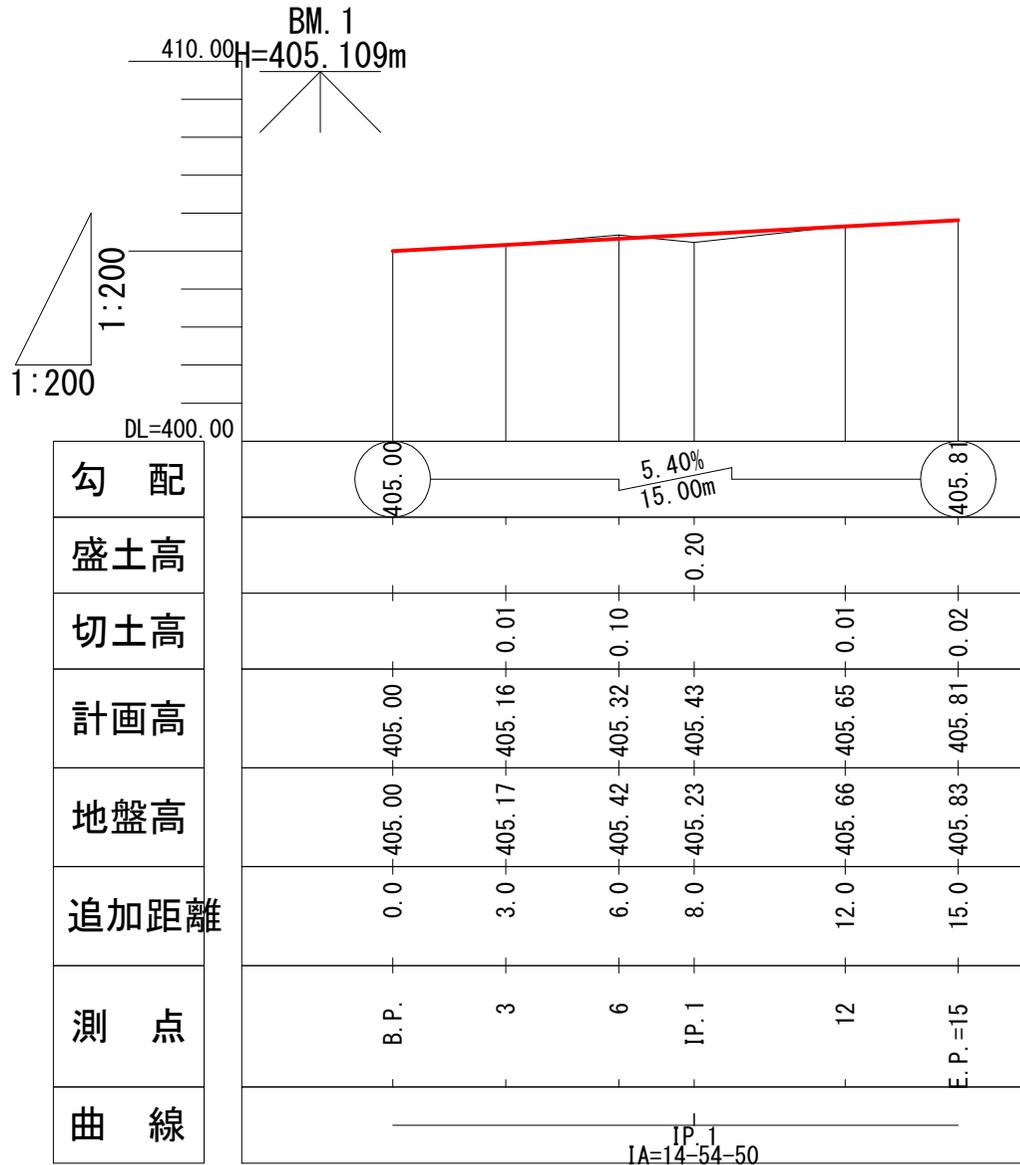


BM. 1
H=405.109m



図名	縦断面図 (1/1)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	V=1:200 H=1:200

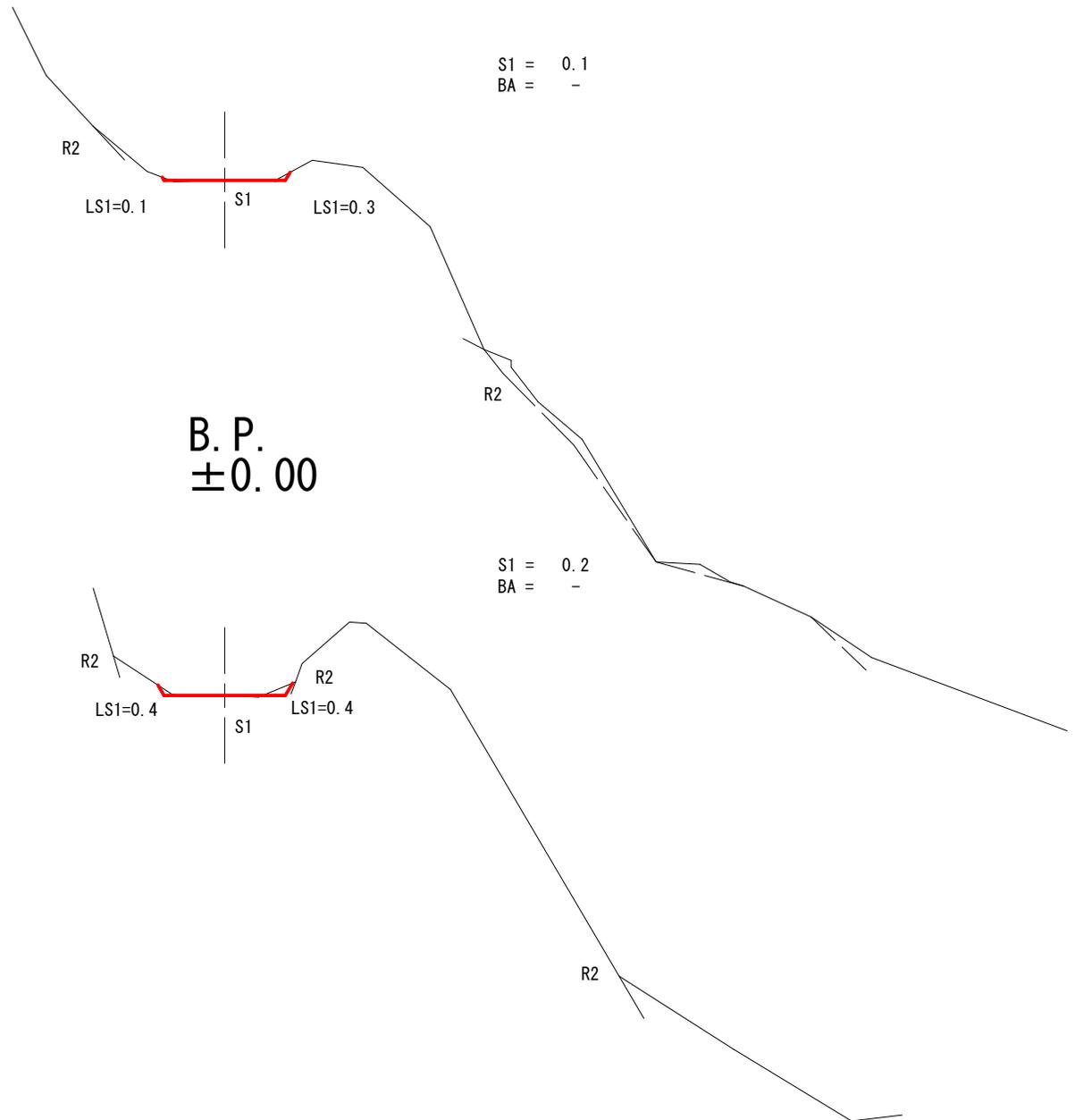
被災番号 5 2.7Km地点



図名	横断面図 (1/3)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 5 2.7Km地点

3
-0.01



起点取付加算土量

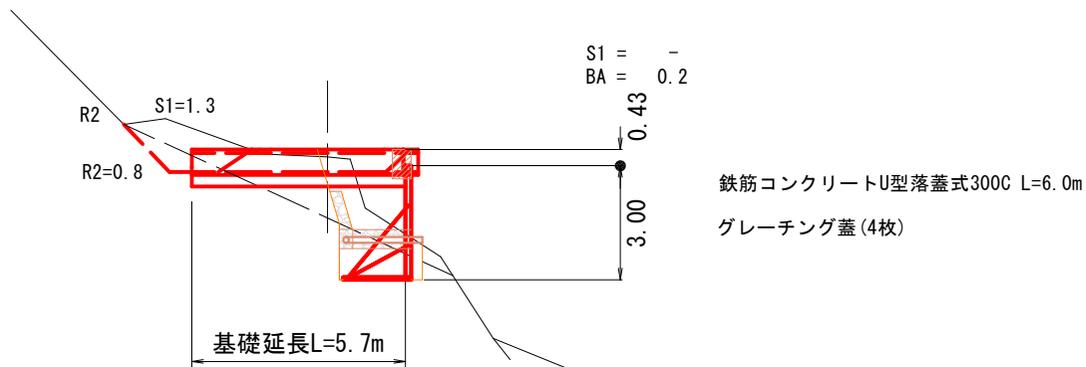
$$S1V = 0.2 \div 3 \times 3.0 = 0.2m^3$$

図名	横断面図 (2/3)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

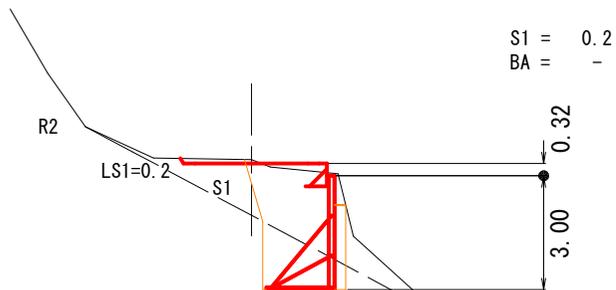
IP. 1 (8.0)
+0.20

被災番号 5 2.7Km地点

呑口切取り
 $S1V = (0.30+0.60) \times 1.3 = 1.2\text{m}^3$
 $R2V = (0.30+0.60) \times 0.8 = 0.7\text{m}^3$



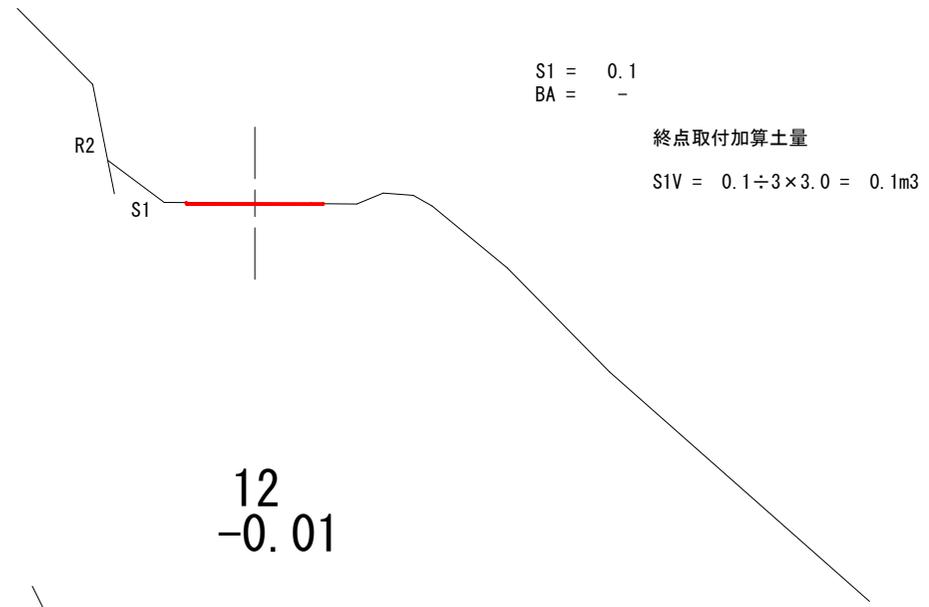
6
-0.10



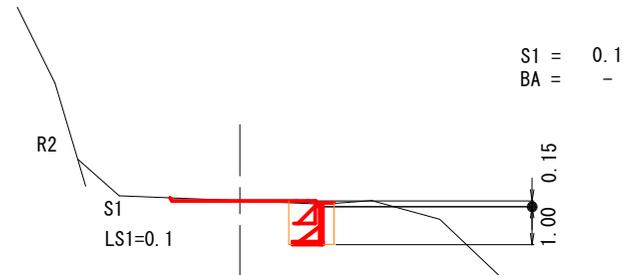
図名	横断面図 (3/3)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

E. P. =15
-0.02

被災番号 5 2.7Km地点



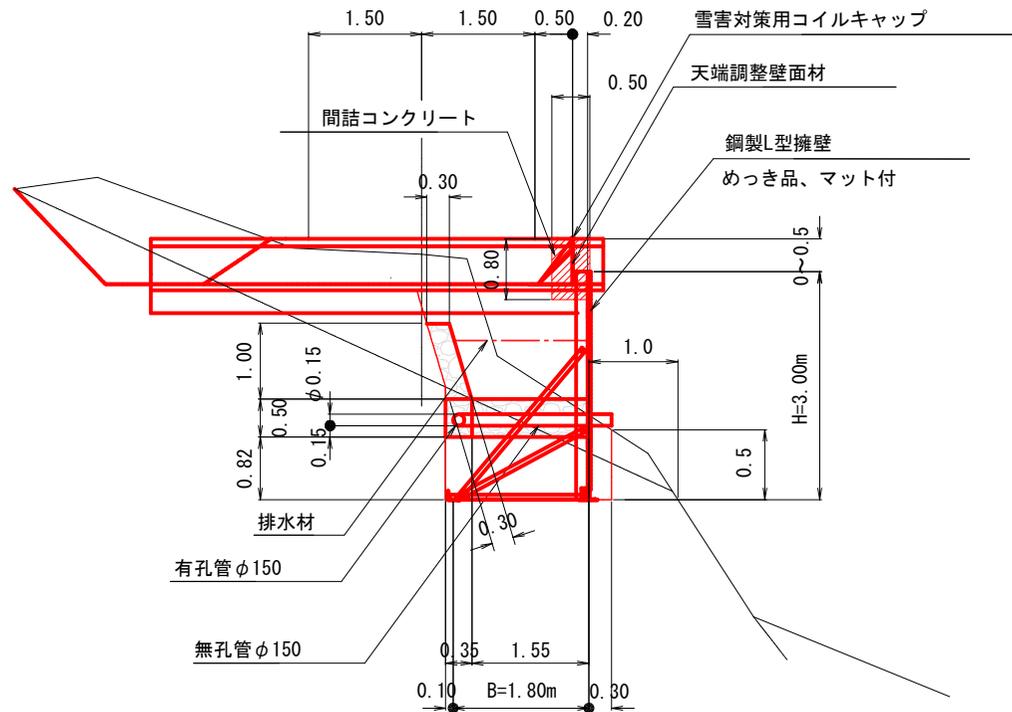
12
-0.01



図名	構造図 (1/11)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	系柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:100

被災番号 5 2.7Km地点

標準断面図



設計条件	
盛土材の内部摩擦角	$\phi = 35^\circ$
盛土材の単位体積重量	$\gamma = 18.0 \text{ kN/m}^3$
載荷重 (活荷重)	$w = 10.0 \text{ kN/m}^2$

最大地盤反力度	
測点IP.1 (8.0) 常時	$q_{\text{max}} = 109 \text{ kN/m}^2 < q_a = 300 \text{ kN/m}^2$

特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 盛土材は転圧作業が行えるもの、または転圧作業ができるように改良する事を前提とする。 背面の掘削面に湧水がある場合は、壁体内に水が侵入しないような排水対策を施すこと。 実施に際して土質試験等を行い、所定の土質定数や支持力を満足するか確認すること。 施工管理基準値は以下の項目を目安とし、各機関の基準に従うものとする。

施工管理基準値	
項目 (頻度)	管理値又は許容値
盛土材の締固度 (盛土材500m ³ に1回)	<ul style="list-style-type: none"> JIS A 1210のA,B法による最大乾燥密度の95%以上、C,D,E法で90%以上とする。 岩石質盛土材の場合は、工法規定方式で管理するものとする。
完成後の壁面勾配	所定の壁面勾配 $\pm 0.03H$ (H:壁高)

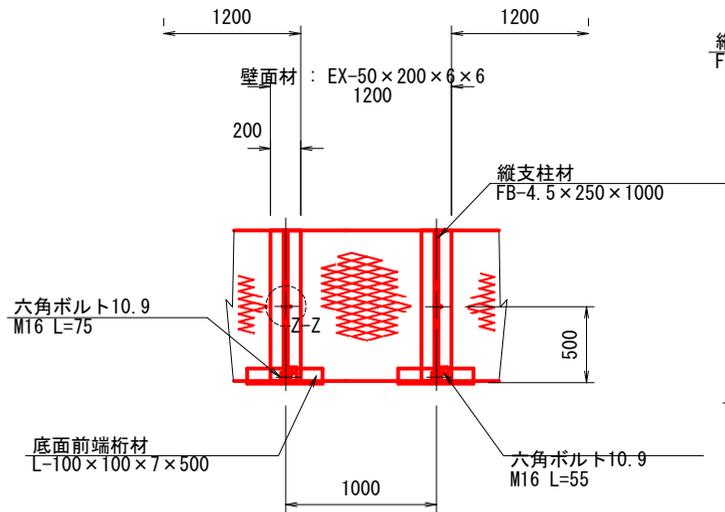
図名	構造図 (3/11)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	系柄沢林道災害復旧工事
縮尺	図示

被災番号 5 2.7Km地点

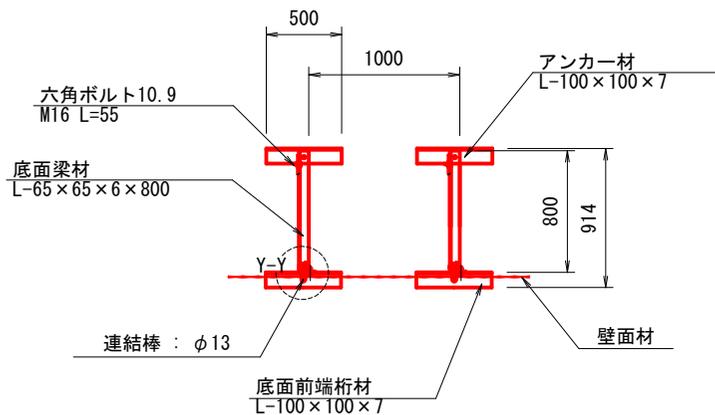
鋼製L型擁壁構造詳細図 (H=1.0m)

S=1:50

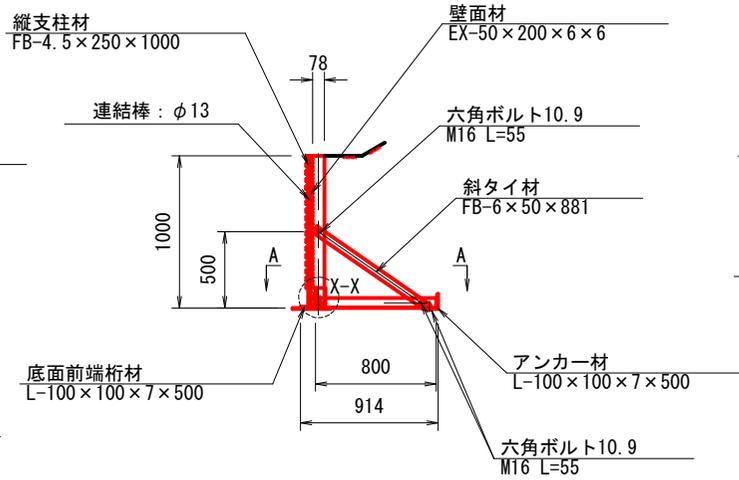
正面図



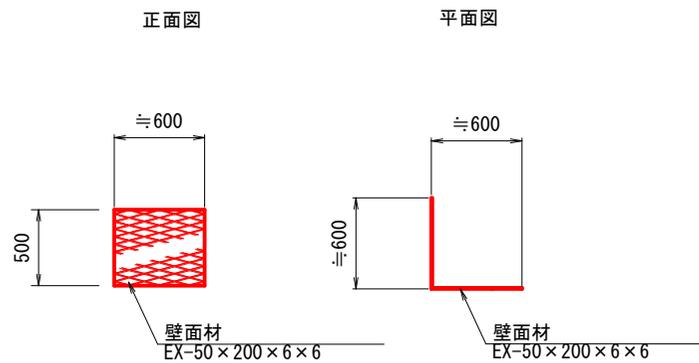
平面図 (A-A)



断面図

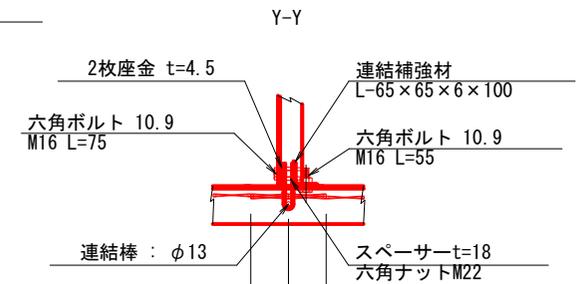
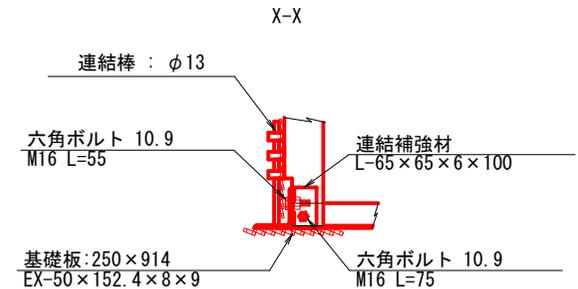


端部壁面材 (側面板)

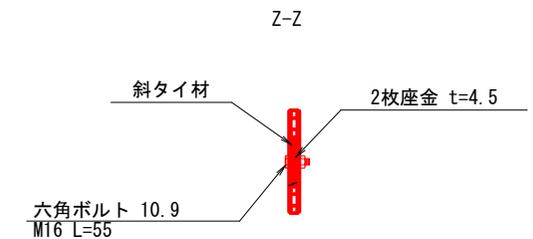


部分詳細図

S=1:20



壁面材重ね部分



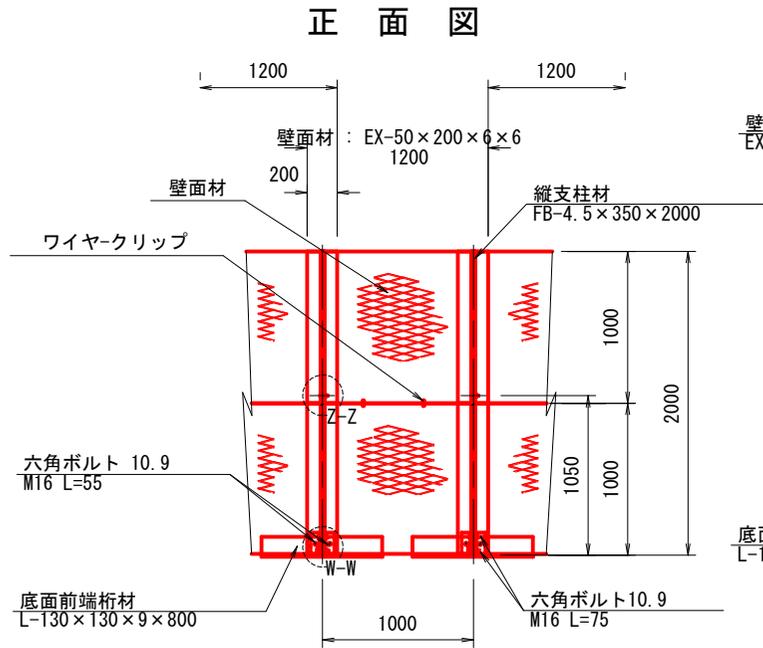
注：斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

図名	構造図 (4/11)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	図示

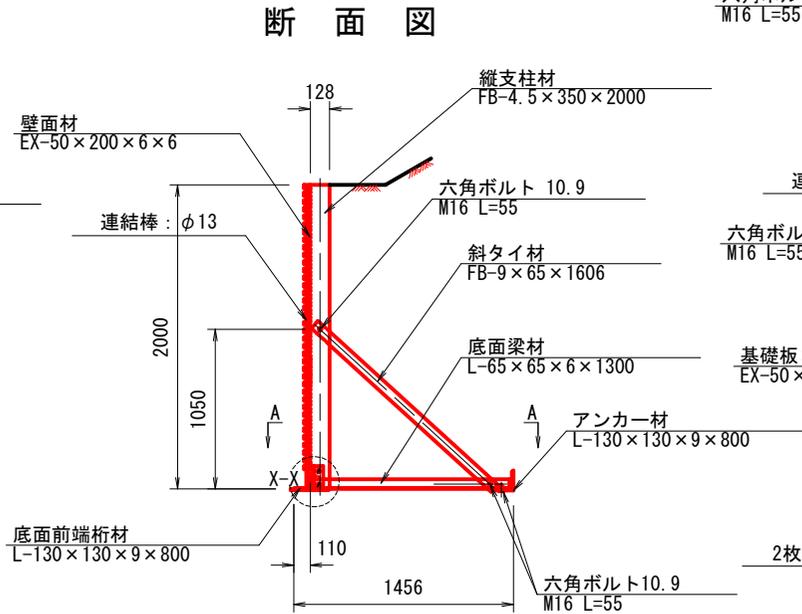
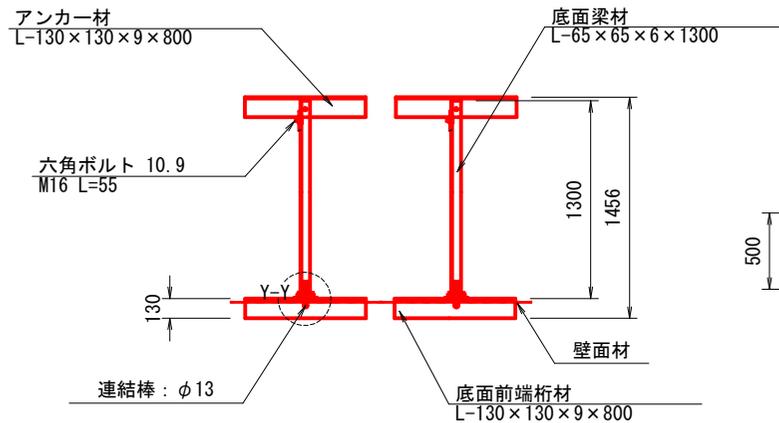
鋼製L型擁壁構造詳細図 (H=2.0m)

S=1:50

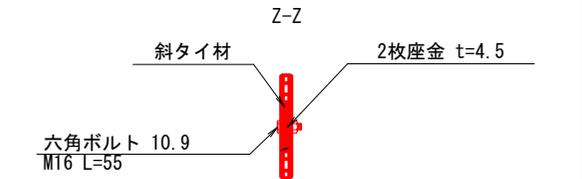
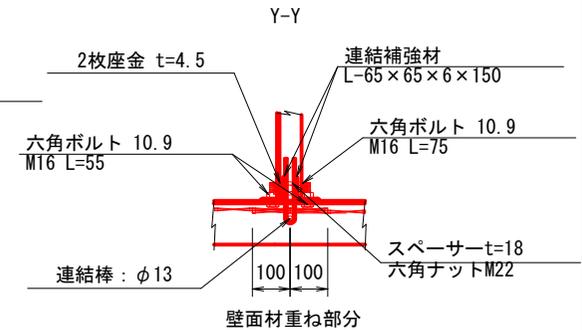
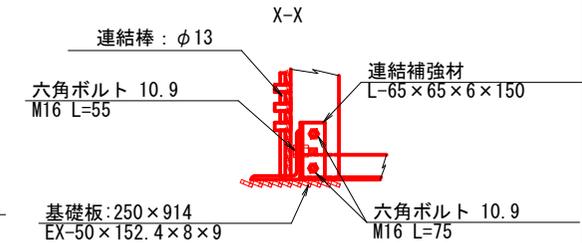
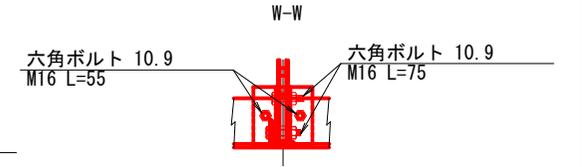
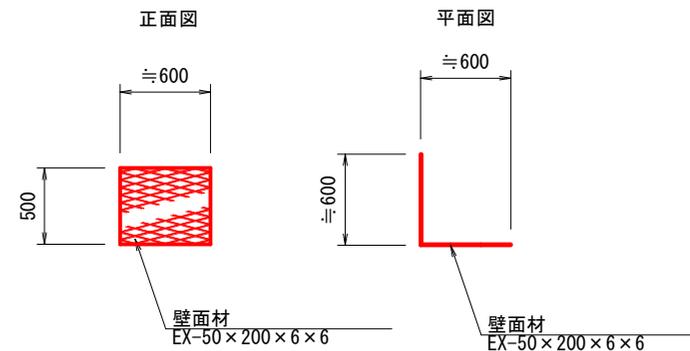
被災番号 5 2.7Km地点
部分詳細図
S=1:20



平面図 (A-A)



端部壁面材 (側面板)



注 : 斜タイ材と座金は支柱材のU形内側に挿入

図名	構造図(7/11)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:50

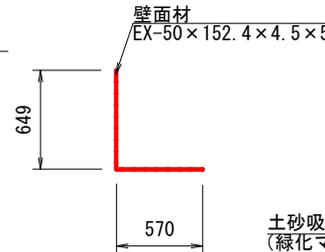
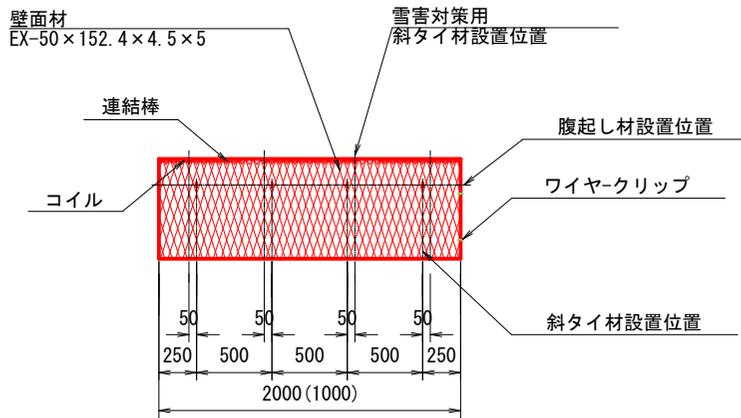
被災番号 5 2.7Km地点

鋼製L型擁壁構造詳細図(天端壁面材) - 雪害対策用コイルキャップ付 -

壁面材

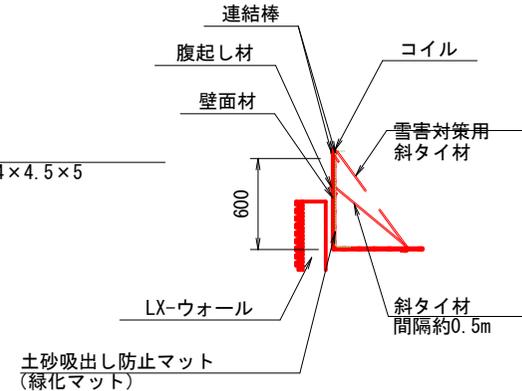
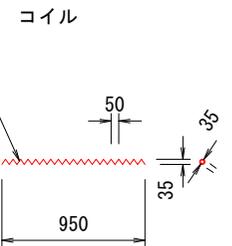
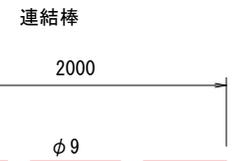
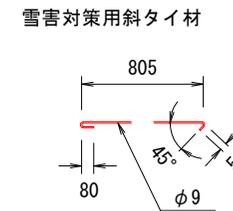
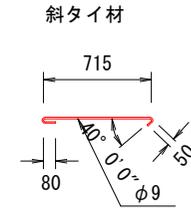
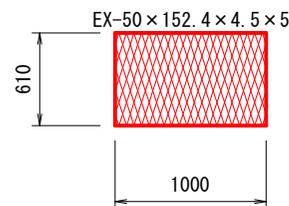
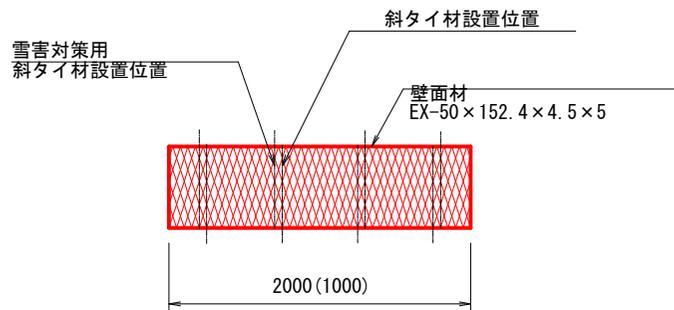
正面

側面



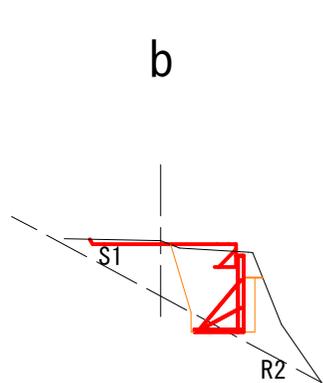
底面

側面板

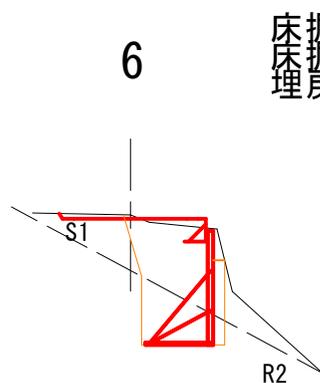


図名	構造図 (8/11)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

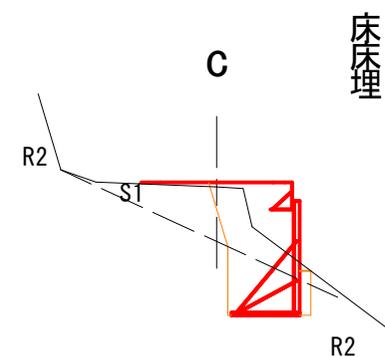
被災番号 5 2.7Km地点



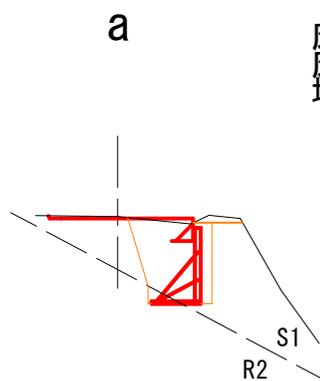
床掘 (S1) = 3.9
 床掘 (R2) = 0.2
 埋戻 (C) = 4.1



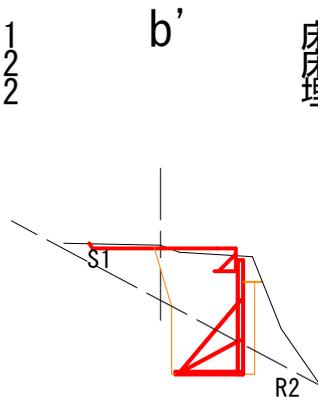
床掘 (S1) = 4.5
 床掘 (R2) = 2.7
 埋戻 (C) = 7.3



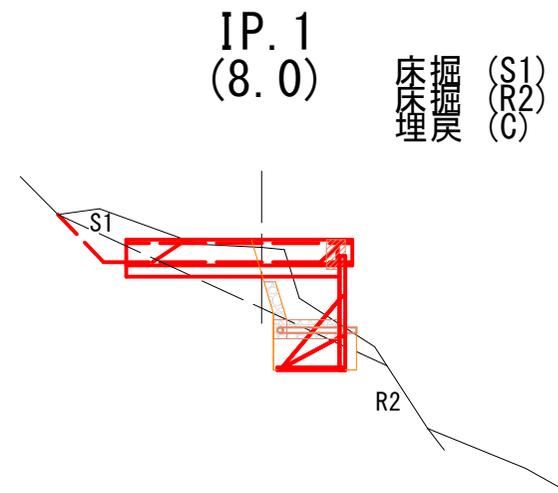
床掘 (S1) = 2.3
 床掘 (R2) = 2.9
 埋戻 (C) = 7.3



床掘 (S1) = 4.1
 床掘 (R2) = 0.2
 埋戻 (C) = 4.2



床掘 (S1) = 4.7
 床掘 (R2) = 2.7
 埋戻 (C) = 7.3

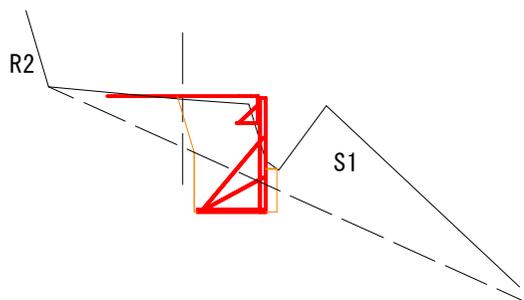


床掘 (S1) = 2.3
 床掘 (R2) = 2.2
 埋戻 (C) = 5.7

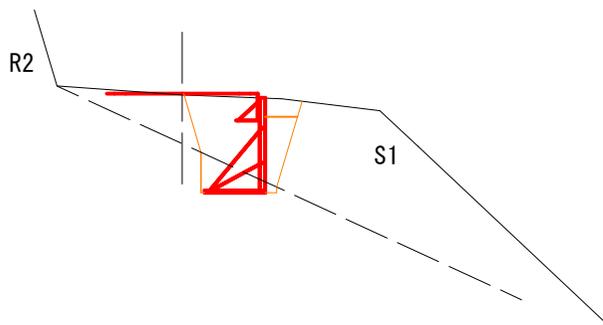
図名	構造図 (9/11)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

被災番号 5 2.7Km地点

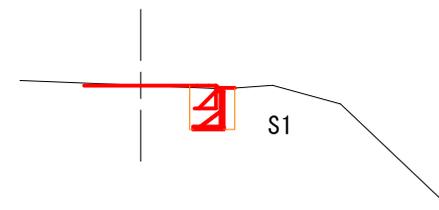
d 床掘 (S1) = 3.4
床掘 (R2) = 2.4
埋戻 (C) = 6.5



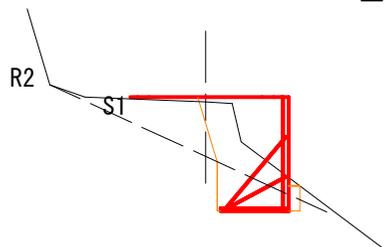
e 床掘 (S1) = 5.0
床掘 (R2) = 1.2
埋戻 (C) = 5.9



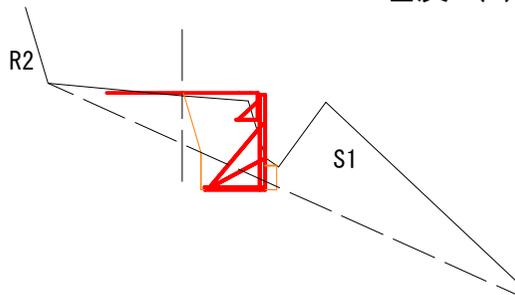
12 床掘 (S1) = 1.3
床掘 (R2) = -
埋戻 (C) = 1.4



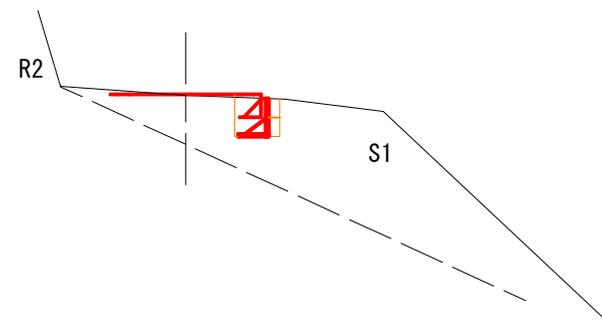
c' 床掘 (S1) = 2.3
床掘 (R2) = 1.8
埋戻 (C) = 6.3



d' 床掘 (S1) = 3.2
床掘 (R2) = 1.1
埋戻 (C) = 4.9

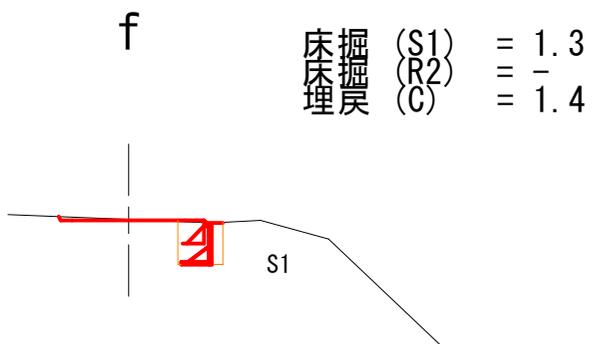


e' 床掘 (S1) = 1.2
床掘 (R2) = -
埋戻 (C) = 1.1



図名	構造図 (10/11)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:200

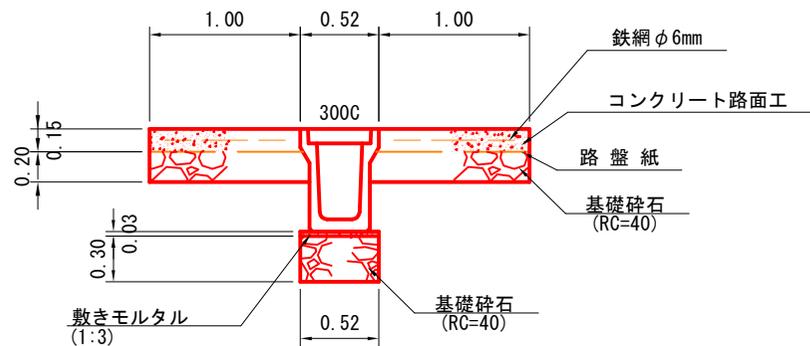
被災番号 5 2.7Km地点



図名	構造図 (11/11)
署名	東北森林管理局 米代東部森林管理署
名称	糸柄沢林道災害復旧工事
縮尺	1:50

被災番号 5 2.7Km地点

鉄筋コンクリートU型落蓋式300C S=1:50



m当たり	
U型落蓋式300C	数量
モルタル	0.02m ³
基礎碎石	0.16m ³

m当たり	
路面工	数量
コンクリート	0.30m ³
基礎碎石	0.40m ³
型枠	0.30m ²